

卒業生の様子と職業教育

今年の3月に卒業した18名が、新しい環境でがんばっています。

進路	人数	職種等
進学	1	障害者職業能力開発校
一般就労（就職）	5	産業機器機材管理、介護、野菜卸売（野菜詰め）、介護施設厨房、障害者施設（世話人）
就労継続支援B型	12	
その他	0	

卒業生にインタビュー！

能代支援学校高等部を卒業して、働き始めた先輩に仕事について聞きました！

青果市場で、主に商品の箱詰めや袋詰めの仕事に取り組んでいます。

Q1 仕事は大変ですか。
→「毎日頑張っています。
仕事は楽しいです。」

Q3 一番やりがいのある仕事は何ですか。
→「トマトの箱詰めです。」

Q5 先輩から後輩へ、在学中にやっておくと良いことはありますか。
→「分からないことは質問すること、物を丁寧に扱うこと、報告をしっかりすることだと思います。」



令和7年度卒業生
米森颯志さん

Q2 一番大変な仕事は何ですか。
→「野菜の太さや長さなどを揃えることと、決められたグラム数にすることです。」

Q4 職場まで車で通勤しているということですが、運転には慣れましたか。
→「少し慣れてきました。安全運転を心がけています。」

米森颯志さんについて現場の方から

自分で考えながら仕事に取り組んでいます。

「きれいに せいかくに はやく」を意識して、順次頑張っている様子が見えます。

学校生活での経験を生かしながら、就職先でも頑張っている感じが感じられます。

今後のさらなる活躍を期待しています！

～能代支援学校高等部の職業教育の特徴について～

高等部主事から

職業教育は、具体的な体験を通して、職業生活・社会参加に必要な知識・技能・能力・態度を知り、身に付けることですが、私たちは具体的に、地域に出向いて花や野菜のリヤカー販売、クリーンアップや花の定植による地域整備活動、老人施設等の訪問によるニュースポーツ紹介、交流、窓清掃などの貢献活動を通して、地域（他者）からの評価を得て、役に立っていることを実感することなどで、手応えや達成感を得ています。